

第4回山縣市総合計画審議会
第12回山縣市まち・ひと・しごと創生会議 会議録（要点筆記）

- 【日時】 令和元年12月6日（金）9:30～11:30
- 【場所】 山縣市役所3階大会議室
- 【出席】 山縣市総合計画審議会委員
- 会長 竹内治彦 岐阜協立大学 学長
- 委員 田上 隆 市自治会連合会代表
- 宇野 睦 市商工会 会長
- 丹羽英之 市社会福祉協議会 会長
- 川田八重子 山縣市教育委員会
- 古川雅一 議会代表（総務産業建設委員長）
- 加藤裕章 議会代表（厚生文教委員長）
- 佐野恵津子 山縣市農業委員会（市民代表）
- 尾関律子 NPOどんぐり会（市民代表）
- 神谷 博 公募（市民代表）

まち・ひと・しごと創生会議委員

- 会長 竹内治彦 岐阜協立大学 学長
- 委員 黒見敏丈 岐阜女子大学 教授
- 田上 隆 市自治会連合会代表
- 宇野 睦 市商工会 会長
- 福地克也 JA岐阜 高富支店長
- 早川 徹 (株)水生活製作所 代表取締役社長
- 河村一彦 市校長会代表
- 加納康成 十六銀行高富支店長
- 大竹裕幸 大垣共立銀行高富支店長
- 浅井一智 岐阜信用金庫高富支店長
- 小倉 誠 岐阜公共職業安定所 雇用開発部長
- 下條大樹 中日新聞社 記者
- 白井浩美 岐北厚生病院 事務局長
- 丹羽英之 市社会福祉協議会 会長
- 武藤行儀 代理出席（相宮一夫）岐阜乗合自動車（株）代表取締役専務
- 今瀬義幸 元岐阜県職員
- 宇野邦朗 副市長
- 事務局
- 奥田英彦 理事兼企画財政課長

武藤達也 企画財政課主幹
梅田寛之 企画財政課主査
棚村湧太 企画財政課主事
市人口ビジョン作成受託事業者 (株) 十六総合研究所

【欠席】 木村麻里 社会保険労務士
松浦健司 岐阜新聞社 本巢支局長

【次第】 1. あいさつ
2. 審議事項
(1)次期総合戦略・総合計画後期計画案及び骨子案について
(2)数値目標と重要業績評価指標 (K P I) の設定について
3. 質疑

【資料】 資料 総合戦略骨子
資料 総合戦略等 (案)
資料 K P I 達成状況等について

【追加資料】 資料 K P I 数値目標及び数値目標等の設定について
資料 第2期総合戦略等事務局案に対する質問表 (回答)

■ 事務連絡

当日資料配布について報告
欠席委員について報告

■ 会長あいさつ

■ 会長 出席委員が過半数に達しているため、山口市総合計画審議会条例第6条第2項の規定により、開催要件を満たしています。

■ また、山口市まち・ひと・しごと創生会議設置要綱第7条第2項の規定により、開催要件を満たしています。

【議事】

会 長 議案について、事務局に説明を求めます。

事務局 次期総合戦略・総合計画後期計画案及び骨子案について説明

○会長 ここまでで質問がありますか。

- 委員 A 総合戦略等案44ページ（15）について、「保育園などに入園している児童」だけでなく、小学校についても表記して欲しい。
また、「病院や医院に併設した施設で預かる」について、併設していない場所でも預かりをしている場所（社会福祉協議会 おひさまなど）があるため「病院や医院等」という表記に直して欲しい。
- 事務局 子育て支援課が担当として、表記している。誤りであったため、学校教育課についても併記を行い、再度構成する。
- 委員 B 節ごとに現状と課題がある。その後具体的施策、施策の展開と続いているが、今の山州市の課題を認識させないといけない。認識、課題の部分がさらっとしている。どこに問題、課題があるか良く分からない。施策や目標についてはよく書かれているが、どういう認識、課題から施策に繋がっているかが分からないため、もう少し記述した方がいいのではないか。
- 事務局 現状と課題について、地方創生を達成するために総合戦略を掲げるため、現状と課題は、子どもを増やす、定住人口をふやす、移住をふやす、地域を元気にすると言う観点から人口減少が著しいということを課題として捉えており、それに対する節の方向性を掲げている。そのため、例えば、結婚支援に対しての現状と課題、保育サービスに対しての現状と課題とはしていない。
- 委員 B それ以外の部分についてもすべてそうだが、まち・ひと・しごとの戦略であるのと同時に、山州市総合計画後期基本計画でもあるのに、総合計画としての性格がかなり弱められている、また、記述が不足している印象を受ける。
- 事務局 総合計画を見直すにあたり、プロジェクトチームに連絡をして現状と課題を各担当部署ごとに取りまとめた。それをコンパクトしたものが総合戦略の現状と課題ということでもよろしかったか。
- 委員 B 住民に対して明らかにする計画であるため、住民が見て市がそれぞれについてどう考えて、どのような取組みをしているかを示すべき。その点、やることはたくさん書いてあるが、どういう認識の元で事業を実施していくかの記載が少ないのではないか
- 事務局 前回の人口ビジョンの中に、まちづくり意識調査の結果が記載してあったが、これが市民の生の意見を集約したもの。市民の生の意見を現状と課題にきっちり入れていないため、そのような印象を受けたと思われるため、できる

かぎり人口ビジョン、総合戦略、総合計画部分を含めて練り直す。

- 会長 総合計画の話は人口ビジョンの話だけではないと思う。人口ビジョンの部分は、人口ビジョンの部分で現状や課題を述べていると思うが、福祉や教育、都市計画の部分については、人口ビジョンだけでは書き込めないと思う。書き込みの指摘は、前回も申し上げたが、表の部分の書き込みが多すぎる。そのため文章として、足りないという感想になると思うため、全体的に検討していただければ。その他指摘事項はあるか。
- 委員C 後期の基本計画の見直しであるが、第2次総合計画の基本構想の理念が書かれていないため、記載して欲しい。また、基本構想に将来像の記述もあるがそのあたりの記述もないため、基本構想との整合性もうまく取って欲しい。
- 事務局 基本構想の部分について庁舎内で検討した。基本構想には基本理念が1つあるが、それは変更しない前提で進んでいる。一方で、総合戦略においても基本理念があるため、一つの計画に二つの基本理念がある事になるため、その扱いをどうするかを早急に検討する。
- 会長 基本の部分なので早めに決めた方がよい。
- 委員D SDGsの位置づけについて、なぜそこにあるか分からないと書いたのは私だが、後ろに回したとしても関係性がよく分からないためもう少し説明を加えていただきたい。例えば、17のゴールがあって、基本的方向に当てはめているがこれだけでは関係性が分からない。具体的施策との関連性を示していないと何をゴールにしていくかが分からない、みえてこないため、そのあたりは明確にした方がよい。記載方法を工夫して欲しい。
- 事務局 前回の38ページから移行したが、庁舎内でも同様の意見があり、巻末にいきなりのせても、脈略がないとの指摘があった。そのため38ページに加え、さらに具体的施策へも位置づけをしていく。例えば、43ページの表の具体的施策の右肩にSDGsの該当する項目を位置づけるなど、具体的施策のレベルで当てはめていくことを検討していきたい。
- 委員D 表の中に入れ込むと余計によく分からなくなるので、一覧の関連性を示す表であらわすなどした方がよい。全体像が分からないのでとても理解しにくい。そのあたりをきちんと記載した方がよい。
- 会長 まず、SDGsを総合計画に書き込むという理解で問題ないか。

- 事務局 会議、庁舎内の意見を踏まえて再検討する。正直なところどうするか迷っている。
- 会長 担当の方が迷われることではない。総合計画でSDGsをすべての施策に絡めるということは山口市がSDGs都市宣言をしているようなもの。議会で議決されてSDGsを入れるのであれば納得がいくが、総合計画でいきなりSDGsを入れることはなぜとを感じる。他の自治体でも3、4つ総合計画に携わっているが、総合計画にSDGsがでてくるのは山口市だけ。それぞれの自治体に関心を持っていないわけではないが、だからといって総合計画に書き込むかと言うとそうではない。総合計画の一つとしてSDGsに取り組むと書いてあるのであれば、取り組みの文書として市の施策と絡めて記載することが妥当でないかと考える。総合計画そのものをSDGsに絡めて計画を作るのは、行政全体がSDGsに取り組むことになる。山口市でそうですと答えていただけるのであれば問題ないが、本当に市全体で取り組んでいくのかは疑問。
- 事務局 151ページの説明の通り、足がかりとして当てはめるという方法をとっている。先ほど話したアンケート結果から、山口市の市民がSDGsの取り組みへの関心度はとても低いことが分かったため、まずは、この4年間でSDGsとは何かという啓発を進めていくと言う方向で計画に載せていきたいと思う。
- 会長 そういった形で落としどころを探っていただければ。
- 委員C 具体的施策について、41、42ページで同じ事が書いてあるが、42ページを削除すると言うことでよかったか。
- 事務局 問題なし。
- 委員C 施策の体系のところでもう少し分かりやすくして記述を書いて欲しい。
- 事務局 現在の体系図の部分に1文付け加えるという形で問題ないか。
- 会長 43ページのことか。
- 事務局 41ページのこと。

- 会長 まず、これをどうみていいかわからない。このような形で計画が仕上がっていくとして構成について発言をしていけばよいのか。または、これは最終的に全く違う形になっていくのかが分からない。このように印刷されるのか。
- 事務局 5年前の総合計画のレイアウトを踏襲した形で計画を作ったつもりである。
- 会長 いろいろな色が出てくるとフォントのサイズがばらばらであるため、内容が目に入ってこない。緑の文字は消えるものでなくなるものでよいか。また、赤字は、最終的に黒字になるのか。フォントのサイズが今変わっている「具体的な施策」については削除されるということの問題ないか。
- 事務局 問題なし。
- 会長 削除されるのであればごちゃごちゃ感は少しはなくなるのでないか。47ページ、数値目標の表の後ろにある色は計画に残るのか。
- 事務局 山県市の市章のイメージカラーである緑色と水色で作る予定。
- 会長 40ページの数値目標について、緑文字で記載してある部分を消すため、下の段は2段になると言うことで問題ないか。
- 事務局 問題なし
- 会長 53ページ下から4行目、フォントサイズが変わっているが踏襲されるのか。
- 事務局 改行幅が変わってしまったため、文字サイズを小さくすることも可能。
- 会長 フォントサイズを変えるのはやめた方がよいのでは。読みにくい。行政の文章として落ち着きが欲しい。目立たせるために文字サイズを変えることは、どうなのかと思う。内容を記載していなくても改行、改ページしてあるものが多くあるが、なくなるという理解でよいか。
- 事務局 5年前の計画書は見やすいため、左側が現状と課題、施策の体系。右側を具体的な施策の展開とする予定でいる。
- 会長 イメージはついた。中身について、何かご質問があれば。
- 委員E 92ページ、利平栗、にんにく元気玉、桑の木豆など具体例がでてきておりブ

ランディングなどを行うと記載してあるが、新規開拓や商品開発の検討の部分は削除されている。

経済の活性や人の雇用を生むためには、開発だけで終わるのではなく、ブランディングなどを行い、販路を都市圏へ拡大させる必要があると思うが、この書き方だと開発をやめると言うことになるのでないか。K P Iの表を見るとにんにくの生産となっている。では生産したにんにくをどうしていくのか。市民は経済の活性化に注目をしているため、今後生産したものをどうしていくかが記載していないため分かりづらい。例えば、都市圏のアンテナショップで売るなど意見を取り入れて欲しい。

バスターミナルについて、人を呼び込む施設を周辺に建設するとある。また、農産物・観光をPRすると書かれている。市民は、道の駅のようなものができて、関西や関東方面から高山など観光に行くときに、観光バスなどが立ち寄ってもらえるといいなと考えている。また、普段の生活でも高齢者がコーヒーなどを飲みながら集まれる場所ができればいいと考えている。それが書かれておらず、ただPRするとだけ書いている。

バスターミナルは、令和2年度末に完成予定とある。飲食施設を考え公募したが、不調に終わった。そのため、自販機をおき、資料館を作ることを考えている。あまりにも差がありすぎる。ここに書いてあることはそんなことしか書いていない。94ページ(3)にぎわいの創出について、一体何をすることが記載していない。農産物の販売を促進する、観光案内所をつくるなど書いていない。K P Iを見ても策定されていない。あと1年ちょっとしかないのに、雇用の創出、産業の発達、経済の活性化などどういう風に考えているのか。分かりにくい部分が多くある。農業の部分であれば、にんにく生産のK P Iが達成したのであれば、○がつく。その次の段階を記載した方がよい。例えば、東京のアンテナショップで売るなどのK P Iを書くのが当然なのは。それであるのに、92ページの商業の活性化、新商品の開発をなくすのはおかしいのでないか。

○会長 端的に質問をいうとどうなるのか

○委員E なぜ、92ページの緑色は消えるのか。また、K P Iの項目を増やす必要があるのではないか。

事務局 大学と連携して研究等は進めたが、新商品の開発には至らなかったため、新規にブランディングなどを進めていこうと考えている。ブランディング以降どういった目標を掲げるかはK P Iや数値目標に入れる段階でないとの判断から掲げていない。にんにくの生産量が、数値目標なのかという議論は庁舎内でもあったため、それに変わる目標値（桑の木豆や連柿の生産量など）を

検討をしたが、具体的に数値目標やK P Iをいれるには至っていない。経済や雇用がどうなるかといった話は、大きすぎる話であるため、行政側として回答するなら環境整備を限られた財政事情で支援をする。それ以降は民間や地域住民が仕掛けを含めて整備した環境を使っていたきたい。これが後の雇用促進や経済の発展に繋がるのでないかと考える。

○委員 E まだ開発に至っていないのであれば、産官学金労言士で検討してはどうか。利平栗を活用した菓子などを高山で販売している方も見えるので、そういう人たちを集めて開発会議を開催するなどしてK P Iを作るのでは。前期の5年間から変わりがない。後期なので少しでも前向きにならないかと思う。

○会長 92ページは産学官について記載してある。91ページの(4)でマーケティングについて書かれたため、こういったことをよくやっていただけたら。ブランディング、マーケティングとなると高校との連携などが新聞でよく記事になるが、記事でしかないため、商工会などの事業に補助を行い、開発していただくのがよいのでは。

バスターミナルについては、例えば大垣だとバス会社に助成金を出しており、ICを降りて施設に寄ると助成するといったことをやっている。大野町だとスマートインターができるのを見越してバスターミナルをつくっている。どういう形にしていくかは検討しなければならない部分である。しかし、現実的には事業主を募集したが、なかなか足りていないなどそれなりの売上がなければ業者としては、手が上がらないのが実態。

総合計画はやることの裏づけがないとなかなか記載することが難しいため、現実の中でどういうことができるかを検討していただければ。書き込めるものは書き込んで欲しい。

その他にあるか。

○委員 A 49ページ、(1)、(2)について、放課後子どもクラブの担当は生涯学習課であるため、担当課の追加をお願いしたい。66ページ(2)について、小中学校で、ブラッシング指導やフッ化物洗口など健康教育を行っているため学校教育課を追加して欲しい。

事務局 追加します。

○委員 B 53ページ、東京圏からの移住支援が一つの柱になっているが、移住支援は東京圏だけではないのでは。例えば、「東京圏等の移住支援」にするなどにしたほうがよいのでは。単に東京だけを目標にするのは違うと思う。53ページ

1番下の行、東京圏への若者転出の抑制に務めるとある。若者の転出の抑制を進めるのか移住を進めるのかが分からない。57ページ(9)近隣市町村等の転出超過抑制ではなく、転出の抑制でいいのでは。引き留め施策と言うのは行政の文らしくないので定住施策など文言をもう少し工夫していただければ。(13)新婚世帯の移住促進について、内容は定住施策の内容であり、何をしたいかが不明確である。

○会長 57ページ(9)近隣市町村等の転出超過抑制ではなく、転出の抑制でよい。移住促進は、定住促進といった表現になるのでは。前回は議論したが東京圏へのこだわりの理由についてもう一度説明をお願いしたい。

事務局 まちづくり・企業支援課で地方創生交付金を受ける事業であるため記載。国の大目標が東京圏への一極集中の是正であるため、その一環として山県市も取り入れた。

○会長 山県市の転出のほとんどは、岐阜市、その次が名古屋圏となっているはず。東京へ行く方は少ないと思われるため、急に東京圏と記載すると突拍子もないと思われるが、施策としてあるならば…。この施策は何年間実施するのか。

事務局 3年間の予定

○会長 3年間であるなら記載することも仕方ない。
「引き留める」は、「定住に努める」などに表現を変える必要がある。
53ページ、下から3行目からについては、これくらいの表現で問題ないのでは。まずは、近隣市町への転出を抑制、さらに、東京圏への転出を抑制と徐々にエリアを広げているためよい。

つづいて数値目標と重要業績評価指標(KPI)の設定についての説明を事務局をお願いしたい。

事務局 数値目標と重要業績評価指標(KPI)の設定について説明

○会長 初めに記載の数値目標とある出生数については数値目標は、成果目標ということで問題ないか。

事務局 問題なし。1つの基本目標に対して、成果目標を1、2つ定めている。

- 会長 数値目標と書いてあるが成果目標とのこと。下の表は、すべてK P Iであるのか。K P Iと数値目標で分かれるのでは。
- 事務局 一番右側でK P I、数値目標を分けている。
資料の最後でK P I、数値目標の個数を記載している。K P Iが23、数値目標が46。
左側に記載してある水色の部分が、5年前に作成した総合戦略のK P Iが列記している。
- 会長 表が分かりづらいため、新しく表を提示して欲しい。
次の説明をお願いしたい。
- 事務局 第2期総合戦略等事務局案に対する質問表（回答）の説明
委員の皆様からいただいた意見については、今回お渡ししたに反映させることができていない。これについては、年内までに総合戦略等（案）に反映させる。今回の会議で不明な点があれば、また、質問票を提出して欲しい。次回の会議にて提示。
- 会長 質問表（回答）の内容については、計画に関わっている内容でないか。
- 事務局 計画に関わった内容である。質問表（回答）は、一旦委員の質問をまとめたものを提示した。
- 会長 では今回の質問表は何か。
- 事務局 今日議論をいただいてさらに質問があればまた、意見を出して欲しい。
- 会長 いくつか先ほど質問をしていただいたが他に質問がある場合は、また質問表を提出して欲しい。
また、質問表（回答）については、今回の案には反映されていないため、前回提出いただいた質問については、質問表（回答）を参考にして欲しい。
K P Iの説明が続きだと思うのでそちらを続けてください。
- 事務局 K P Iについて、前回会議を踏まえ関係課に現在照会中である。
取りまとめた上で、次期総合計画数値に書き換えるため、今回の説明はこれで以上。
- 会長 このまま終わってしまうと今回の会議と次回の会議が同じになる。それは避

けたい。今回の質問表は前回と同じである。質問をいただいてK P Iを作り直して会議を行うと今回と全く内容が同じになる。

例えばK P Iの新しい表を至急作り、それについての質問にするなど毎回の会議で進捗を出していかないと会議を重ねる意味がないので、決めていただきたい。

事務局 12月中旬を目途に、K P Iの数値目標、考え方について改めて郵送する。それに対する質問、意見を次回の会議までに事前に取りまとめる。次回の会議でパブコメの素案を作る。

○会長 次の会議では、緑の文字などすべてなくした、印刷版を提示して欲しい。K P Iについては、なるべく早めに新しい表を作成して欲しい。次回の会議でK P Iを決定できるようにして欲しい。次回K P Iを決定するのであれば、前回と今回で大きく変わっている点を教えて欲しい。

事務局 次期計画でK P Iにする予定の目標を説明

○会長 43、44、45について、公共交通会議などでは交通の充実について謳っていると思われるため、自主運行路線の1便当たりの運行経費をK P Iとするのは、ちょっと厳しいのでは。乗車人数か、1便当たりの乗車人数をK P Iとした方がよいのでは。数値目標にするのはよいが、経費削減をK P Iとするのは行政としてよくないのでは。他に意見があれば。

委員F 基本目標4山県市の愛着感について、案の32ページ、愛着感を持つという目標はとてもよい。そのあとにシビックプライドという言葉がある。プライドが活性化において、また、定住人口を増やす上で重要になってくると思う。プライドを押し量る手段があればよい考える。

基本目標1中、女性従業者数について、働き方改革によって女性の手を借りていかなければならなくなる。また、従業員がパートであるか正社員であるかによって目標の意味がぜんぜん違ってくる。私は、女性従業者数は働き方改革により、自然に増えていくものであると思うため、ここに載せる意味があまりないのではないかと思う。これを載せるくらいなら、後ろにあるさくらカンパニーの方が重要なのではないか。もし、こちらに数値をおくのであれば、女性従業員数は、重なってくる部分もあり意味がないかと思う。具体的には5の女性従業者数はなくてもよい。また、さくらカンパニーと女性従

業者数のような重なっている目標値が散見されるためもう少し目標数を減らしてもいいのでは。

基本目標3 従業者数の項目があるが、300人しか増えていない。先ほどの女性従業者数は600人増えており、数値に整合性がない。数値目標自体を見直す必要がある。自分の考えでは女性従業員数はなしでいい。

逆に、従業者数について、みんなが活躍ということで、産業の拡大を目標にしているのであれば、正社員であるかパートであるか、また、市内から勤めているのか、市外から勤めているのか、あるいは男女、ここでしっかり内訳をとれば、それで問題ないと感じた。

先週伊自良中学で志の講習会を行った。山口市に水栓バルブ関係の会社が100社以上あることを知っていた人、2,3人しかいなかった。計画50ページ(2)、産業の教育、キャリア教育、山口市の産業についても子供達に伝えていく行く必要がある。教育の中で市の産業についても学習していくとよい。また、広報やまがたでももっと産業について、子供だけでなく、大人にも伝えていく必要があるのではないかと思う。市民や子供が山口市の特色を知ることがシビックプライドに繋がると思う。そういった部分いろいろな部分に発展できたら良いと思う。

○会長 シビックプライド、キャリア教育について、ぜひ施策から反映していただけたらと思う。
その他意見があれば。

○委員B 基本目標3 31の参加店舗存続率とはなにか。また、基本目標5 51交通事故加害者数 免許所有者1000人あたり、1000人は山口市の免許所有者と分かるが、交通事故加害者というのは、山県市民が山口市で起こした事故についていっているのか、山県市民が東京などで起した事故も入るのか、もしくは、山県警察署管内で起きた事故加害者数をいっているのか、分子を教えてください。

事務局 1点目について、商工会でスタンプラリーの事業を展開しており、それについての指標。
2点目については、警察統計を使用。山県管内で山県市民が加害者になる率を下げることが目標に。他市の方が山県管内で被害を受けた場合についても含まれる。

○委員B 山県警察署管内で加害者になった人という意味か。

事務局 そのとおり

- 会長 山県市民が山県警察署管内で加害者になったと言う意味ではないのか
- 事務局 説明を間違えていた。
山県警察署管内で免許保有者が起こした事故についてである。そのため、岐阜市の人が山県警察署管内で事故を起した場合においても含まれる。
- 会長 それであれば、交通事故件数でいいのでは。
そもそもその数値がK P Iとしてふさわしいか検討して欲しい。
- 会長 たくさんあるかと思うが、構成に関わる大きな話があれば。
- 委員D 計画の構成については、読む人が分かりやすいようにして欲しい。施策の体系について、K P Iと目標値の次に来ているが、施策の体系で使用した番号をK P Iと目標値でも使用しているため、とても読みにくい。順番の入れ替え等も考えて欲しい。また、数値目標もかなり多くあるので、本当にここに入れるべきであるのかももう一度検討して欲しい。
- 会長 少し精査していただいて、なるべく早く資料を送付していただき、事前に意見を出して、どのような意見があるか踏まえた上、次回の会議に向かえば。次にその他について、どなたか意見があるか。
- 事務局 次回の合同会議1月16日（木）13時30分から開催したいと思う。
- 会長 他に意見があるか。
以上で会議を終了いたします。

―― 閉会 11:30 ―――